

# un Appartement



## トキワ荘の青春

主演：本木雅弘 市川準：監督  
Masahiro Motoki Jun Ichikawa

まじめだけど、ヘンだった。  
こっけいだけど、真剣だった。  
かなしい時も、あたたかだった。  
映画になった漫画家たちの青春。

本木雅弘 大森嘉之 古田新太 生瀬勝久  
鈴木卓爾 阿部サダヲ さとうこうじ 翁 華栄  
松梨智子 安部聡子 北村想 内田春菊 きたろう  
時任三郎(友情出演) 桃井かおり(友情出演)

監督：市川準

製作：増田宗昭 寺尾和明

プロデューサー：塚本俊雄 里中哲夫

脚本：市川準 鈴木秀幸 森川幸治

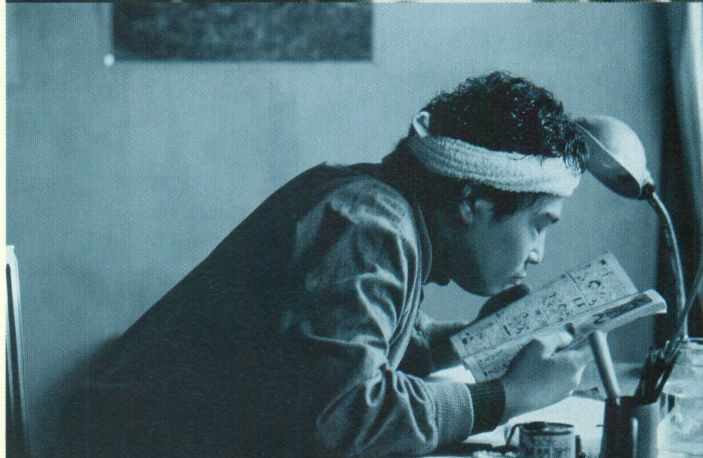
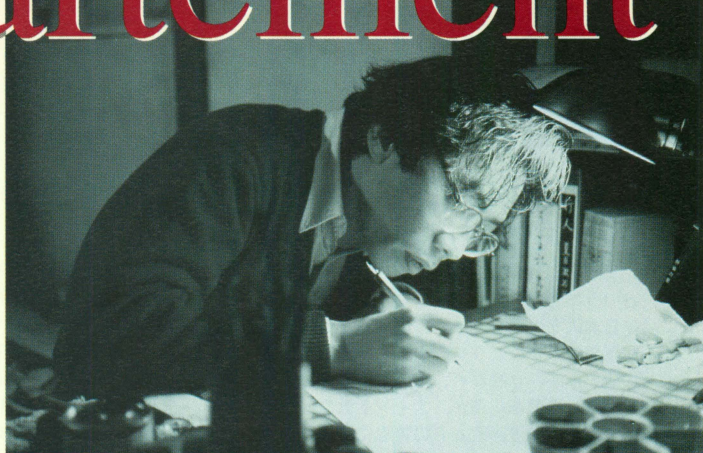
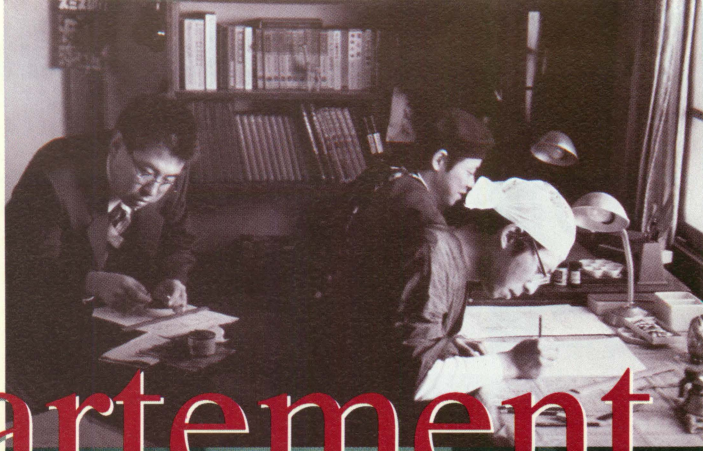
撮影：小林達比古 田沢美夫

音楽：清水一登 れいち 美術：間野重雄

照明 中村裕樹 録音 橋本泰夫 編集 渡辺行夫

製作・配給：カルチュア・パブリッシャーズ株式会社

製作協力：オプトコミュニケーションズ 近代映画協会



昭和時代、純情グラフィティ。





# 東京、豊島区、椎名町、そこに漫画家たちの伝説の城「トキワ荘」があった。

今から40年ほど前—日本人みんなが上を向いてくっていた昭和時代、新人の漫画家たちが集まる「トキワ荘」があった。そのアパートには「漫画の神様」手塚治虫が住んでおり、彼に憧れる漫画家志望の若者たちが全国から集まり入居していった。その漫画家の卵たちの中に寺田ヒロオがいた。彼の描く漫画は幼いといえるほど、優しく暖かい世界で彩られていた。そして彼は、そんな漫画を子供たちに提供し続けたいと考えていた。その後、藤子不二雄（安孫子素雄・藤本弘）、赤塚不二夫、石森章太郎など後に日本漫画界をリードすることになるメンバーが続々入居してきた。それぞれ4畳半しかない部屋の中で、

金もなく食べるものも満足に無いほどの貧乏暮らしだったが、「漫画を描きたい」という情熱は決して失うことはなかった。テラさん（寺田）を党首として「新漫画党」を結成し、それぞれに活躍の場を求めて互いに励ましあいながら、独自の世界を切り開いていった。しかし、時代の流れとともに「トキワ荘」の住人にも変化があらわれた。時代に乘っていく者、時代から降りる者、時代から取り残される者—そんな中で、寺田ヒロオの気持ちが揺れていく…。昭和時代、ただひたすら漫画を愛した若者たちの青春。

## 全国的に知られる超有名アパート、トキワ荘。

数年前、彼らの無名時代を題材にしたNHK連続ドラマ「まんが道」が放送されるやいなや、トキワ荘は全国で一番有名なアパートになってしまった。当時は、有名漫画家たちが暮らしたアパートを一目見ようと訪問者が絶えなかったそうだ。残念ながらトキワ荘はすでに取り壊され今は見学できないが、そのことが、より一層トキワ荘を

伝説化するのに拍車をかけている。本作では漫画家たちが暮らした当時のトキワ荘を忠実に再現。机、壁、畳、廊下、調度類など隅々まで資料と漫画家たちの話をもとに復元させ撮影、生きた「昭和30年代のトキワ荘」を見られる唯一の映画となっている。

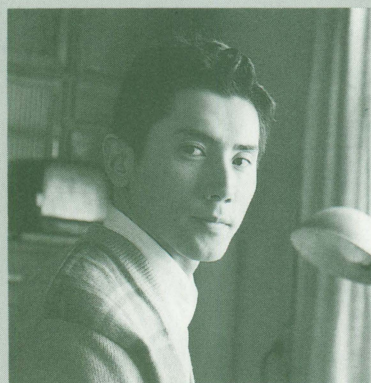


## 市川演出の絶妙なタッチで、漫画家たちの青春時代がよみがえる。

「BU・SU」「会社物語」「つぐみ」「病院で死ぬということ」「東京兄妹」など独自の視点と演出で日本人を表現してきた市川準。まるで日常をスケッチするかのような静かなタッチの作品は“市川ワールド”と呼ばれ、海外でも高い評価を受けている。その市川準が「人を見る歓び」をテーマに無名時代の漫画家たちの青春にスポットを当てた。

そして派手さはなくとも本当にその時代を生きていたかのような若手俳優たちの演技とその日常空間を静かにとらえるカメラワーク。まるで漫画家たちの青春を垣間見ているような独特な映像空間が提供されている。彼らの笑い、歓び、涙を同時体験しながら、ひとりひとりの心に触れたような感動—ここにまた味わい深い「人を見る歓び」に溢れた市川作品が登場した。

昭和中期という時代を表現するセットと音楽、



## 本木雅弘、寺田ヒロオ役で新境地開拓

このところ「ラストソング」「RAMPO」「GONIN」と波に乗る本木雅弘が、市川監督の劇場作品に初挑戦。これまでになかった静かな演技に注目が集まっている。

彼が演じるのは漫画家仲間の良き兄貴分だった「テラさん」こと寺田ヒロオ。温和で面倒見はいいが、こと漫画に対しては一徹で自分の漫画スタイルを変えない真面目な男。漫画家の卵たちで創った「新漫画党」のリーダーで、彼の目を通して物語は展開するが、本木はその難しい役どころを、独特の市川空間のなかで実に生き生きと演技している。

また彼を取り巻く漫画家たちに演劇界のホープが大抜擢されている。森安役の古田新太（劇団新感線）、鈴木役の生瀬勝久（劇団そばこまち）、藤本役の阿部サダヲ（大人計画）、つのだ役の翁華栄、石森役のさとうこうじ、安孫子役の鈴木卓爾、手塚役の北村想（プロジェクト・ナビ）安部聡子など演劇ファンならずとも見逃せない。

そして赤塚役の大森嘉之（「瀬戸内少年野球団」「静かな生活」など多数出演）をはじめとする若手俳優、編集者・丸山役のきたろう、さらに桃井かおり、時任三郎、内田春菊など個性豊かな俳優陣が出演している。

みんなで買った、読んだ、マネした「トキワ荘」の漫画家たちの傑作！

- ・寺田ヒロオ 「背番号0」「スポーツマン金太郎」
- ・安孫子素雄（藤子不二雄Ⓐ） 「忍者ハットリくん」「プロゴルファー猿」
- ・藤本弘（藤子・F・不二雄） 「オバケのQ太郎」「ドラえもん」
- ・石森章太郎（石ノ森章太郎） 「サイボーク009」「仮面ライダー」
- ・赤塚不二夫 「おそ松くん」「天才バカボン」
- ・手塚治虫 「ジャングル大帝」「鉄腕アトム」
- ・つのだじろう 「うしろの百太郎」「恐怖新聞」
- ・水野英子 「ファイヤー！」「ホフマン物語」

これらの作品はごく一部、いっぱいありすぎて挙げると切りがない。でもみんな一世を風靡した漫画ばかり。昭和生まれの日本人なら必ず思い出す漫画がひとつふたつあるはず、トキワ荘の漫画家たちの作品のなかに……



桃井かおり(友情出演)



時任三郎(友情出演)



5月25日(土)より(金マデ) 待望のロードショー!

●特別鑑賞券¥1,400 (当日一般¥1,800/大・高¥1,500) 発売中!

※劇場窓口、阪急・阪神・東映・エスト1各PG、チケットセゾン、チケットぴあ、関西プレイガイド協会にてお求め下さい。

上映時間 (土・日のみ 10:10) | 12:20 | 2:30 | 4:40 | 6:50

梅田ロフトB1 06(359)1080

テアトル梅田2